

# 全国で 大阪で 広がる野党共闘

## いまや自民・公明の補完勢力 あらわになる「おおさか維新」の姿

昨秋の知事・大阪市長選挙から半年余。全国でも、大阪でも政治が大きく動き出しました。安倍政権が強行した「安保法制」(戦争法)にたいする市民の怒りが噴出。野党共闘の新しい流れが広がり、そのなかで「おおさか維新の会」の本性がさらけだされています。

野党  
共闘

### 安保法制(戦争法)廃止・安倍政権退陣へ

——野党と市民が手をつないで



5・3扇町集会、4野党そろいぶみ

5月3日の扇町公園「おおさか総がかり集会」。民進、共産、社民、生活の4野党府連代表がそろい、「野党の勝利で戦争法は廃止」、そして「自民、公明、その補完勢力・おおさか維新を少数に」と力強くアピールしました。

与党と補完勢力を少数に —— 2月19日の5野党合意から

- ① 安保法制の廃止と集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を共通の目標とする
- ② 安倍政権の打倒を目指す
- ③ 国政選挙で現与党およびその補完勢力を少数に追い込む
- ④ 国会における対応や国政選挙などあらゆる場面でできる限りの協力を行う

おおさか  
維新

### 「改憲3分の2勢力入り」を公言

——安倍政権と二人三脚で

憲法改悪へ、安倍首相は自公だけでなく、「改憲を考えている責任感の強い人たちと3分の2を構成していきたい」。「おおさか維新」は党大会で「改憲3分の2勢力入り」を公言。二人三脚の「改憲タッグ」でつきすすんでいます。

「憲法改正はすごいこと。なんでも協力する」  
「住民投票は(改憲の)国民投票の予行練習だ」(橋下徹氏 昨年1月)



### 与党にすりより、野党を分断

——市民の願いに背を向けて

「おおさか維新」は大阪で、2人目を擁立。その理由は「共産党と民進党に大阪での議席を与えたくないから」(松井代表)といいますが、ついこの間まで「大阪都」を批判していた方でした。その一方、総選挙では大阪の4つの「自公協力・公明現職区」には候補をたてないことを明らかに。「野党は分断。自公に協力」。この面でも「安倍政権応援団」ぶりがうきぼりです。

#### 「維新惨敗」京都3区

4月の衆議院京都3区補欠選挙。「おおさか維新の会」としての初の挑戦でしたが惨敗に終わりました。

#### あの渡辺氏が維新に!?

「8億円借金」問題の渡辺喜美氏(元みんなの党)が「おおさか維新」入り。「身を切る改革」はどこへ?